

取組

個別の意見

取組の方向性

- ・職員の充実(専門性が求められるため研修の充実など)
- ・非正規職員も研修を受けて市民の要望にきちんと応えていて良い
- ・必要な場所に偏りなく配置し、継続的に存続して欲しい
- ・インターネットの広報など若い世代も利用しやすいような工夫
- ・中央館方式でなく個別の公民館の独自性を重視し民主的な運営ができる方式に戻して欲しい。地域性が薄れている
- ・公民館はコミュニティセンターのような貸し館ではなく社会教育の拠点
- ・誰でも自由に入出入りでき、利用無料が望ましい

- 「社会教育の拠点」という位置づけを改めて見直し再定義する

- ・施設の改修を行いもっと広くする
- ・館外貸し出し窓口を増やすなどして利便性を向上
- ・司書を正規職員として身分保障

- スタッフを含むソフト、ハードの両面で利便性向上を図る

- ・コンクールなどの積極的活用、敷居の低い文化イベント、交流イベントへの市民の参加意欲を高める工夫
- ・「文化」を幅広くとらえて(例.ポップカルチャーなど)若い層を支援する

- 対象とする文化・スポーツのコンテンツの見直しを図る

- ・子どもの文化活動の特徴(テスト時期や学校行事が忙しい時期にはできず、文化活動ができる時期に限られるなど)に配慮し、子どもが文化活動をしやすくして欲しい
- ・文化振興条例の活用、公共施設の設置についての市民と話し合いを行うなど、行政と市民の更なる連携、更なる市民参加を
- ・文化イベントへの補助、市民文化団体への補助、支援充実を

- 交通アクセスを含めた利用しやすさを向上させ市民参加を推進する